

9. 平成 23 年度広島県病害虫・雑草防除基準に採用した 普通作物用除草剤の除草効果及び薬害

1. 背景とねらい

除草剤を適正に使用することは、作物生産の省力化・安定化を図るうえで極めて重要である。そこで、新しく開発・改良される薬剤について、農林水産省の登録認可に必要なデータを提供するとともに、登録後の県内における病害虫・雑草防除基準および現地指導の資料を作成するため、効果や作物に対する安全性を評価する適用性試験を行う。

2. 成果の内容

平成 23 年度広島県病害虫・雑草防除基準に新規に採用した除草剤の薬剤数は、水稲用除草剤が 30 剤、麦類・豆类（種実）・雑穀類用除草剤が 8 剤である。

主な剤の効果及び薬害は次のとおりである。

- 1) エーワン 1 キロ粒剤及びポッシブル 1 キロ粒剤（主成分：テフリルトリオン）は、主要な広葉雑草，カヤツリグサ科雑草まで防除可能で，水稲への薬害も無いことから，一発処理剤として実用性が認められる（表 1，2）。
- 2) アピロトップ MX 1 キロ粒剤 51（主成分：メソトリオン）は，ホタルイ、コナギの抑草効果が期待できる。実用性のある一発処理剤である（表 3）。

3. 利用上の留意点

- 1) 新規需要米向け水稲品種の「ハバタキ」「タカナリ」「モミロマン」「ミズホチカラ」「ルリアオバ」「おどろきもち」「兵庫牛若丸」は，テフリルトリオン，メソトリオンに高い感受性を示し稲株が白化して枯死する場合がある。これらの成分を含む薬剤は使用しない。
- 2) 薬剤の使用にあたっては，農林水産消費安全技術センター・農薬登録情報検索システムにより最新の農薬登録内容を必ず確認すること。

（栽培技術研究部・生産環境研究部）

技術指導に参考となる成果

4. 具体的データ

表1 エーワン1キログラムによる除草効果と薬害(平成22年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比(%)											薬害程度	
		ノビエ	カヤツリ グサ類	アゼナ	他一年 生広葉	マツ パイ	ホタ ルイ	ヘラオ モダカ	ミズガ ヤツリ	ウリ カワ	セリ	ヒル ムシロ		合計
エーワン1キログラム	+5	0	0	0	2	0	0	0	2	7	2	12	2	無
エーワン1キログラム	ノビエ2.5葉期	0	0	0	4	0	t	0	3	12	11	17	4	無
エーワン1キログラム	ノビエ3.0葉期	0	0	0	2	0	t	0	3	8	5	20	3	無
ザークD1キログラム51	ノビエ2.0葉期	0	0	16	5	0	2	0	2	15	6	39	6	無

注1) 品種: 広島21号(こいもみじ)。田植: 4月9日。処理時期の「+」は田植後の日数を示す。

注2) 表中のtは、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。

表2 ポッシブル1キログラムによる除草効果と薬害(平成20年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比(%)									合計	薬害程度
		ノビエ	コナギ	他一年 生広葉	ホタ ルイ	ミズガ ヤツリ	ウリ カワ	セリ	(クログワイ)			
ポッシブル1キログラム	+0	0	0	0	0	0	2	9	(4)	1	無	
ポッシブル1キログラム	+5	0	0	0	0	0	4	9	(14)	1	無	
ポッシブル1キログラム	ノビエ2.0葉期	0	0	1	0	0	19	14	(1)	2	無	
ポッシブル1キログラム	ノビエ2.5葉期	0	0	1	0	0	0	8	(4)	1	無	
ザークD1キログラム51	ノビエ2.0葉期	0	0	0	t	2	16	21	(8)	4	無	

注1) 品種: ホウレイ。田植: 5月27日。処理時期の「+」は田植後の日数を示す。

注2) 表中のtは、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。

表3 アピロトップMX1キログラム51による除草効果と薬害(平成20年)

薬剤名	処理時期	雑草乾物重無処理区比(%)									合計	薬害程度
		ノビエ	コナギ	他一年 生広葉	ホタ ルイ	ミズガ ヤツリ	ウリ カワ	セリ	(クログワイ)			
アピロトップMX1キログラム51	+0	t	0	16	t	0	18	1	(15)	1	微	
アピロトップMX1キログラム51	+3	t	0	4	t	2	22	2	(20)	2	無	
アピロトップMX1キログラム51	ノビエ2.5葉期	0	0	2	2	7	27	9	(23)	4	無	
ザークD1キログラム51	ノビエ2.0葉期	0	0	0	t	2	16	21	(8)	4	無	

注1) 品種: ホウレイ。田植: 5月27日。処理時期の「+」は田植後の日数を示す。

注2) 表中のtは、小数点以下第1位を四捨五入しても1に満たない値を示す。